

日本ロシア文学会若手ワークショップ企画賞受賞

時の脱臼

スラヴ・ユーラシアの文学・芸術における
錯時性 (アナクロニズム)

2025年3月8日(土)13時30分より

東京大学駒場キャンパス18号館4階

コラボレーションルーム1

対面・オンライン併用開催

報告

堤縁華 (東京大学・博士後期課程)

「停滞と渋滞、あるいはソ連とポスト・ソ連
——アラム・アイリスリ『大いなる渋滞』試論」

佐藤大雅 (法政大学・博士後期課程)

「ソ連の〈新印象主義〉——サツル・パフル
ルザーデをめぐる——」

石野慶一郎 (東京大学・博士後期課程)

「カリカチュアにおける錯時性——ドレフェス
事件からシャルリ・エブド襲撃事件まで——」

李博聞 (京都大学・博士後期課程)

「錯時的同時性の奇跡——パステルナーク
「幾らかの状況」における時間と芸術」

奥村文音 (東京外国語大学・博士後期課程)

「組み替え可能な時間——フレイブニコフに
おける錯時的現象の内部構造——」

コメンテーター

貝澤哉 (早稲田大学・教授)

乗松亨平 (東京大学・教授)

対面・オンライン併用開催 (参加費無料・事前登録制)

対面参加 / オンライン視聴するためには事前登録が必要です。二次元
コードからお申し込みください。



デザイン：ハチヤキョウコ